

■⑤-1 吉野川渡河橋の景観検討における視点場

○左岸位置図



○吉野川河口部左岸利用状況

- ・ 河口部北側の小松海岸緑地、海水浴場へのアクセスとなる市道の通過交通が多い。
- ・ 堤防天端部の「県道鳴門徳島自転車道線」でのサイクリング、ジョギング等を行う人達がみられる。
- ・ 左岸下流端の堤防スロープ付近や堤防上に車を止め、釣りなどのレジャーを楽しむ人達がみられる。

これらの状況は、平日でも利用している人達が複数確認できることから、市道の通過交通及び堤防上利用の観点から橋梁交差部に着眼して視点を設定した。

■⑤-1 吉野川渡河橋の景観検討における視点場

○左岸視点場の位置付けと検討内容

視点場	現況写真	位置付け	検討内容
<p>①橋梁近景 (県道鳴門徳島自転車道線)</p>		<p>堤防道路を散策、ジョギング、釣り人、自転車道を利用している人の立場で吉野川大橋全体を望む。</p>	<p>河口部前端から眉山方面における橋梁全景に配慮した橋梁構造及び付属物の検討</p>
<p>②橋梁近景 (市道小松海水浴線)</p>		<p>海水浴やサーフィン等のレジャー目的で小松海岸へ向かうドライバーの立場で橋梁交差部を望む。</p>	<p>橋梁交差部における桁下空間及び橋台含む近接景観に配慮した橋梁構造及び付属物の検討</p>
<p>③橋梁近景 (県道鳴門徳島自転車道線)</p>		<p>堤防道路を散策、ジョギング、釣り人、自転車道を利用している人の立場で吉野川大橋全体を望む。 (だるま朝日の視点は橋梁より下流の海岸となるので影響は無い。)</p>	<p>河口部を望む橋梁全景と、橋梁交差部における桁下空間及び近接景観に配慮した橋梁構造及び付属物の検討</p>

■⑤-1 吉野川渡河橋の景観検討における視点場



○左岸視点場の位置付けと検討内容

視点場	現況写真	位置付け	検討内容
④橋梁近景 (県道鳴門徳島自転車道線)		堤防道路を散策、ジョギング、釣り人、自転車道を利用している人の立場で橋梁交差部を望む。 (周辺では「だるま朝日」が有名だが、主なニュースポットは橋梁より下流側の海岸となる)	橋梁交差部における桁下空間及び近接景観に配慮した橋梁構造及び付属物の検討
⑤橋梁近景 (県道鳴門徳島自転車道線)		堤防道路を散策、ジョギング、釣り人、自転車道を利用している人の立場で橋梁交差部を望む。	橋梁交差部における桁下空間及び近接景観に配慮した橋梁構造及び付属物、残地の調整池化の検討
⑥橋梁近景 (県道鳴門徳島自転車道線)		堤防道路を散策、ジョギング、釣り人、自転車道を利用している人の立場で橋梁交差部を望む。	橋梁交差部における桁下空間及び近接景観に配慮した橋梁構造及び付属物の検討

■⑤-1 吉野川渡河橋の景観検討における視点場

○右岸位置図



○吉野川河口部右岸利用状況

- ・ 河口南側のマリンピアエリアへのアクセスとなる「臨港道路沖洲（外）線」の通過交通が多い。
- ・ 堤防天端部の堤防管理道でのジョギング、釣り等レジャー利用の人達がみられる。
- ・ 右岸下流端の堤防スロープ付近や堤防上に車を止め、釣りなどのレジャーを楽しむ人達がみられる。

これらの状況は、平日でも利用している人達が複数確認できることから、臨港道路の通過交通及び堤防上利用、マリンピアからの利用者の観点から橋梁交差部に着眼して視点を設定した。

■⑤-1 吉野川渡河橋の景観検討における視点場

○右岸視点場の位置付けと検討内容

視点場	現況写真	位置付け	検討内容
①橋梁近景 (堤防管理道)		堤防端に駐車可能な広いスペースがあり、散策、ジョギング、バードウォッチャー等が多く、堤防管理道を利用して人の立場で吉野川大橋全体を望む。	河口部を望む橋梁全景と近接景観に配慮した橋梁構造及び付属物の検討
②橋梁近景 (臨港道路沖洲(外)線)		マリニピア何の事業所からの商用車(トラック等)ドライバーの立場で橋梁交差部を望む。	橋梁交差部における桁下空間及び近接景観に配慮した橋梁構造及び付属物の検討
③橋梁近景 (堤防管理道)		堤防端に駐車可能な広いスペースがあり、散策、ジョギング、バードウォッチャー等が多く、堤防管理道を利用して人の立場で橋梁交差部を望む。	橋梁交差部における桁下空間及び近接景観に配慮した橋梁構造及び付属物の検討

■⑤-1 吉野川渡河橋の景観検討における視点場

○遠景位置図



○吉野川河口部利用状況

- ・河口部は、阿波しらさぎ大橋を中心に、マリンピア北緑地公園、小松海岸から国道11号吉野川大橋までの一帯に自然散策コースが設定されており、徒歩での散策や、ジョギング、サイクリングなどで利用する人達が多く見られる。

これらの状況は、平日でも利用している人達が複数確認できることから、阿波しらさぎ大橋やマリンピアからの利用者の観点から橋梁全景に着眼して視点を設定した。

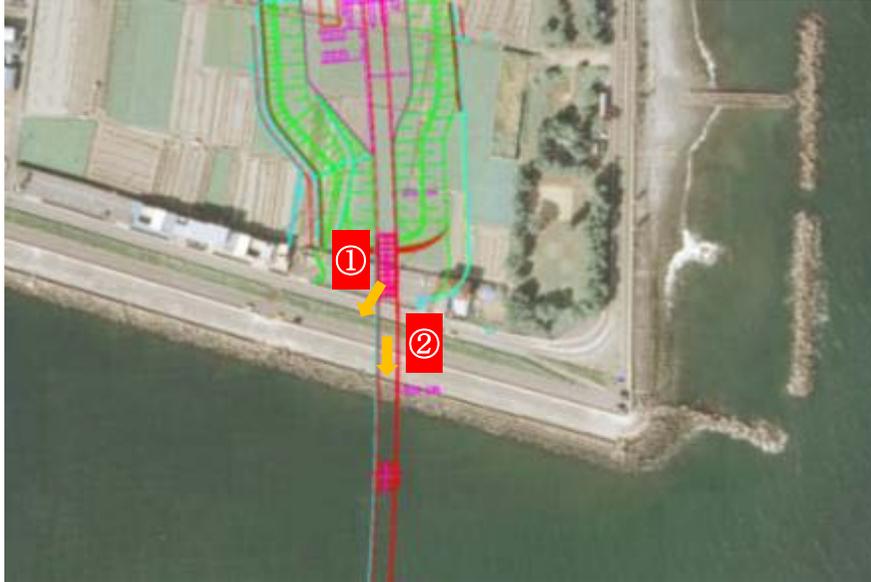
■⑤-1 吉野川渡河橋の景観検討における視点場

○遠景視点場の位置付けと検討内容

視点場	現況写真	位置付け	検討内容
①阿波しらすぎ大橋から吉野川渡河部を望む遠景		阿波しらすぎ大橋をジョギング等で利用する人の立場から吉野川大橋全体を望む。	環境保存対策採用案と設計案との桁下空間の比較検討
②マリンピア北緑地公園から吉野川渡河部を望む遠景		マリンピア北緑地公園を利用する人の立場から吉野川大橋全景を望む。	完成イメージ図のみ

■⑤-1 吉野川渡河橋の景観検討における視点場

○吉野川渡河橋走行景観位置図



○吉野川渡河橋走行車両からの景観

高欄や標識などの構造が、運転手及び同乗者から見える吉野川の開けた空間及びその先の景色に対する影響について検討

下り線：徳島東料金所（仮称）を通過し、小松島方面へ向かう車両から、徳島市街地や日峰大神子公園の山が見える。

上り線：徳島東を通過し、鳴門方面へ向かう車両から、淡路島や和歌山方面の景色が見える。

■⑤-1 吉野川渡河橋の景観検討における視点場



○吉野川渡河橋走行車両視点場の位置付けと検討内容

視点場	現況写真	位置付け	検討内容
<p>①左岸側</p> <p>(下り走行景観：市街地方向)</p>		<p>小松島方面走行時のドライバー及び車内からの視点 (視線上に吉野川及び海洋、その先に徳島市街地、眉山を望む)</p>	<p>小松島方面走行時の走行空間(高欄、標識等)が景色に与える影響の検討</p>
<p>②左岸側</p> <p>(下り走行景観：小松島方向)</p>		<p>小松島方面走行時のドライバーの視点 (視線上に吉野川及び海洋、その先に徳島市街地、日峰大神子公園の山を望む)</p>	<p>小松島方面走行時の走行空間(高欄、標識等)が景色に与える影響の検討</p>
<p>③右岸側</p> <p>(上り走行景観：大鳴門橋方向)</p>		<p>鳴門方面走行時のドライバーの視点 (視線上に吉野川及び海洋、視界良好時にはその先の淡路島(大鳴門橋)を望む)</p>	<p>鳴門方面走行時の走行空間(高欄、標識等)が景色に与える影響の検討</p>